

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	クラウドファンディング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302
担 当 教 員	岡村 和明	実務経験と その関連資 格				
《授業科目における学習内容》						
クラウドファンディングの歴史・現況について理解を深め、クラウドファンディングの各プロジェクトの事例研究を行い、成功事例・失敗事例・傾向と対策を学ぶ。プロジェクトの実施方法を経験を通じて学び、自力でプロジェクトを立案と実施をできるようになり、今後、自身の資金調達方法を獲得する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末にレポート提出 評価:70%。 出席評価20%。講義内課題提出状況などによる平常評価10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
なし						
《授業外における学習方法》						
講義中に提示される演習課題を次回講義までに仕上げることで理解を深める						
《履修に当たっての留意点》						
SNSやニュース、自分の興味のある領域でのクラウドファンディングプロジェクトについてアンテナを貼ると、より内容が理解できます。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	オリエンテーション:当科目の全体概要を理解し説明できるようになる		スライド(投影)	クラウドファンディングについてAIに聞いておく	
	各コマに おける 授業予定	当科目の全体像と授業の進め方、評価方法の説明、講師および生徒の自己紹介				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディングの概要を説明できる		スライド(投影)	自分の興味のある分野・事例を明確にする	
	各コマに おける 授業予定	クラウドファンディングの現状を事例を通じて理解し、クラウドファンディングとはの概要を理解する。プロジェクトを見つける演習を行う。				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディングの歴史と現況・種類を説明できる		スライド(投影)	クラウドファンディングのプラットフォームのサイトを調査するしておく	
	各コマに おける 授業予定	クラウドファンディングの歴史の流れと、日本におけるクラウドファンディングの状況と種類を説明。プロジェクトから事例を見つける演習を行う。				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディングのプラットフォームとしくみについて説明できる		スライド(投影)	支援したいプロジェクトを調査しておく	
	各コマに おける 授業予定	クラウドファンディングの各プラットフォームの特徴を説明、クラウドファンディングのしくみについて説明する。				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディングのメリット・デメリットについて説明できる		スライド(投影)	クラウドファンディング以外で資金調達する方法を調査する	
	各コマに おける 授業予定	クラウドファンディングのしくみを理解したうえで、プロジェクトを実施するメリット・デメリットやリスクを説明する。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングの進め方の全体概要について説明できる	スライド(投影)	終了しているクラウドファンディングの事例を調査する
	各コマにおける授業予定	クラウドファンディングのプロジェクトの進め方の全体概要について説明する。それぞれの段階の事例を調査する演習を行う。		
第7回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングプロジェクトの企画・立案について説明できる	スライド(投影)	興味のあるプロジェクトを調査しておく
	各コマにおける授業予定	クラウドファンディングのプロジェクトを行う上で、企画・立案のやり方や事例について説明する		
第8回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングの事例について説明できる	スライド(投影)	興味のあるプロジェクトを調査しておく
	各コマにおける授業予定	企画・立案の観点で、プラットフォーム上のプロジェクトの調査の演習を通して、具体的な企画立案の事例を学ぶ		
第9回	授業を通じての到達目標	プラットフォームの選定について説明できる	スライド(投影)	どのようなプラットフォームがあるか調査しておく
	各コマにおける授業予定	クラウドファンディングを行う上で、プラットフォームの特徴を理解し、プロジェクトに適したプラットフォームを選定する方法を学ぶ		
第10回	授業を通じての到達目標	プラットフォーム上で取り組む内容について説明できる。	スライド(投影)	プロジェクトを掲載するにはどうしたらいいかプラットフォームのページを調査する
	各コマにおける授業予定	クラウドファンディングのプロジェクトを実施するにあたり、プラットフォーム上で行う具体的な実施内容について説明する		
第11回	授業を通じての到達目標	成功するためのプロジェクトページ作成のコツについて説明できる	スライド(投影)	目標金額を達成しているプロジェクトを調査する
	各コマにおける授業予定	クラウドファンディングのプラットフォーム上でプロジェクトページを作成するにあたり、成功するためのコツについて事例を通して説明する		
第12回	授業を通じての到達目標	成功するプロジェクトページを実際に作成する	スライド(投影)	目標金額を達成しているプロジェクトを調査する
	各コマにおける授業予定	実際にクラウドファンディングのプロジェクトページに作成に必要な文章や画像を、生成AIを活用して作成する演習を行う		
第13回	授業を通じての到達目標	リターンの設計ができるようになる	スライド(投影)	具体的にそれぞれのプロジェクトのリターンのアイテムを調査する
	各コマにおける授業予定	クラウドファンディングのプロジェクトの成功要因の一つなるリターン(返礼品)に関して、事例を通じて成功するための要点を説明する		
第14回	授業を通じての到達目標	具体的なリターンを設計する	スライド(投影)	具体的にそれぞれのプロジェクトのリターンのアイテムを調査する
	各コマにおける授業予定	事例の調査を行いつつ、効果的なリターンについて設計し、画像や説明文の作成演習を行う		
第15回	授業を通じての到達目標	プロジェクト実施期間中に取り組む内容について説明できる	スライド(投影)	現在、支援募集中のプロジェクトについて調査する
	各コマにおける授業予定	クラウドファンディングのプロジェクトの実施期間中(支援募集中)に、プロジェクトを成功させるために取り組む内容について説明する		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	クラウドファンディング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302
担 当 教 員	岡村 和明	実務経験と その関連資 格				
《授業科目における学習内容》						
クラウドファンディングの歴史・現況について理解を深め、クラウドファンディングの各プロジェクトの事例研究を行い、成功事例・失敗事例・傾向と対策を学ぶ。プロジェクトの実施方法を経験を通じて学び、自力でプロジェクトを立案と実施をできるようになり、今後、自身の資金調達方法を獲得する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末にレポート提出 評価:70%。 出席評価20%。講義内課題提出状況などによる平常評価10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
なし						
《授業外における学習方法》						
講義中に提示される演習課題を次回講義までに仕上げることで理解を深める						
《履修に当たっての留意点》						
SNSやニュース、自分の興味のある領域でのクラウドファンディングプロジェクトについてアンテナを貼ると、より内容が理解できます。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディング経験者から話を伺い、プロジェクト実施期間中に取り組む内容について説明できるようになる。		スライド(投影)	プロジェクトを行うにあたり取り組むべき内容を整理しておく	
	各コマに おける 授業予定	実際にクラウドファンディングのプロジェクトを実施された方の話をオンラインで伺い、成功・失敗の実例や勘所について説明する				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディングの実例を説明できるようになる①		スライド(投影)	成功したプロジェクトの事例から取り組んだ内容を整理する	
	各コマに おける 授業予定	課外授業:クラウドファンディングの支援を得た施設を訪問し、実際のプロジェクトの企画や運用などについて理解する				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディングの実例を説明できるようになる②		スライド(投影)	成功したプロジェクトの事例から取り組んだ内容を整理する	
	各コマに おける 授業予定	課外授業:クラウドファンディングの支援を得た施設を訪問し、実際のプロジェクトの企画や運用などについて理解する				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	プロジェクト終了後の取り組みについて説明できるようになる		スライド(投影)	終了したばかりの達成しているプロジェクトを調査しておく	
	各コマに おける 授業予定	支援募集期間終了後のリタンの発送などクラウドファンディングプロジェクトで取り組む内容について説明する。				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	より具体的なプロジェクトが立案できるようになる		スライド(投影)	自分ならどのようなプロジェクトを行いたいのか検討しておく	
	各コマに おける 授業予定	一連のプロジェクトの実施方法について学んだうえで、具体的事例をもとにクラウドファンディングのプロジェクトを企画・立案する演習を行う				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングに関する事件について説明できるようになる	スライド(投影)	クラウドファンディングの実施を通してどのようなリスクがあるか整理しておく
	各コマにおける授業予定	クラウドファンディングプロジェクトで実際にあった詐欺や批判などネガティブな事例について説明する。		
第22回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングの失敗事例について説明できるようになる	スライド(投影)	クラウドファンディングの実施を通してどのようなリスクがあるか整理しておく
	各コマにおける授業予定	失敗事例のケーススタディを通して、失敗原因を説明。それを踏まえて、失敗しないために取り組むべき内容について討議を行う。		
第23回	授業を通じての到達目標	プロジェクトを成功に導くために、より効果的な施策について説明できるようになる	スライド(投影)	成功事例を見つけどのようなことに取り組んだか調査しておく
	各コマにおける授業予定	プロジェクトを成功させるためにSNS、マーケティング、メディア戦略など具体的に取り組む内容について説明する。		
第24回	授業を通じての到達目標	プロジェクトを成功に導くより効果的な動画を製作できるようになる	スライド(投影)	効果的な画像や動画が使用されている成功事例を調査する
	各コマにおける授業予定	プロジェクトを成功に導くためにSNSで公開する動画を生成AIを活用して製作する		
第25回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングのプロジェクトページを作成できるようになる①	スライド(投影)	プロジェクトが成功するために必要なポイントを整理しておく
	各コマにおける授業予定	演習: 具体的な事例をもとにプロジェクトページの作成を行う		
第26回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングのプロジェクトページを作成できるようになる②	スライド(投影)	プロジェクトが成功するために必要なポイントを整理しておく
	各コマにおける授業予定	演習: 具体的な事例をもとにプロジェクトページの作成を行う		
第27回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングのプロジェクトページを作成できるようになる③	スライド(投影)	プロジェクトが成功するために必要なポイントを整理しておく
	各コマにおける授業予定	演習: 具体的な事例をもとにプロジェクトページの作成を行う		
第28回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングのプロジェクトページを作成できるようになる④	スライド(投影)	プロジェクトが成功するために必要なポイントを整理しておく
	各コマにおける授業予定	演習: 具体的な事例をもとにプロジェクトページの作成を行う		
第29回	授業を通じての到達目標	演習で作成したプロジェクトページの発表を通して評価ができるようになる	スライド(投影)	評価ポイントを整理しておく
	各コマにおける授業予定	前回までに作成してプロジェクトページの発表会を行い、良い点・改善点など評価しあう		
第30回	授業を通じての到達目標	本講義内容について、要点を理解した上で説明ができるようになる。	スライド(投影)	これまでの講義内容に関し、ノートやプリントを見直しておくこと。
	各コマにおける授業予定	総合演習を行ない、講義内容の理解度を測る。		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	クラウドファンディング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	302
担 当 教 員	岡村 和明	実務経験と その関連資 格				
《授業科目における学習内容》						
クラウドファンディングの歴史・現況について理解を深め、クラウドファンディングの各プロジェクトの事例研究を行い、成功事例・失敗事例・傾向と対策を学ぶ。プロジェクトの実施方法を経験を通じて学び、自力でプロジェクトを立案と実施をできるようになり、今後、自身の資金調達方法を獲得する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末にレポート提出 評価:70%。 出席評価20%。講義内課題提出状況などによる平常評価10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
なし						
《授業外における学習方法》						
講義中に提示される演習課題を次回講義までに仕上げることで理解を深める						
《履修に当たっての留意点》						
SNSやニュース、自分の興味のある領域でのクラウドファンディングプロジェクトについてアンテナを貼ると、より内容が理解できます。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 31 回	授業を 通じての 到達目標	オリエンテーション:当科目の全体概要を理解し説明できるようになる		スライド(投影)	前期の講義内容を振り返っておく	
	各コマに おける 授業予定	当科目の全体像と授業の進め方、評価方法の説明、講師および生徒の自己紹介				
第 32 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディングの概要を説明できる		スライド(投影)	自分の興味のある分野 のプロジェクトを調査す る	
	各コマに おける 授業予定	前期の講義内容のうち、クラウドファンディングの歴史と現況・しくみについて再度振り返り、直近のプロジェクトについてディベートを行う				
第 33 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディングのプラットフォームとしくみについて説明できる		スライド(投影)	クラウドファンディングの プラットフォームのサイ トを調査するしておく	
	各コマに おける 授業予定	前期の講義内容のうち、クラウドファンディングの各プラットフォームの特徴を説明、クラウドファンディングのしくみについて再度振り返る。				
第 34 回	授業を 通じての 到達目標	クラウドファンディングの進め方の全体概要について説明できる		スライド(投影)	前期の講義内容・課題 について振り返っておく	
	各コマに おける 授業予定	前期の講義内容のうち、クラウドファンディングのプロジェクトの進め方と手順について振り返る。				
第 35 回	授業を 通じての 到達目標	プロジェクトページの制作とリターン設計ができる		スライド(投影)	前期の講義内容・課題 について振り返っておく	
	各コマに おける 授業予定	前期の講義内容のうち、プロジェクトページの制作に必要な要素と具体的なリターンの設計の重要性を振り返り、具体的な事例を通して評価し合う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	授業を通じての到達目標	プロジェクト成功のために必要なコツを説明できる		スライド(投影)	前期の講義内容・課題について振り返っておく
	各コマにおける授業予定	前期の講義内容のうち、クラウドファンディングのプロジェクトを成功するために必要な要素を振り返り、何が重要なのかディベートを行う			
第37回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディング経験者から話を伺い、プロジェクト実施期間中に取り組む内容についてより高度な観点から説明できるようになる。		スライド(投影)	プロジェクトを行うにあたり取り組むべき内容を整理しておく
	各コマにおける授業予定	実際にクラウドファンディングのプロジェクトを実施された方の話をオンラインで伺い、成功・失敗の実例や勘所について説明する			
第38回	授業を通じての到達目標	プロジェクトを成功に導くために、より効果的な施策についてより高度な観点から説明できるようになる		スライド(投影)	成功事例を見つけたのようなおことに取り組んだか、調査しておく
	各コマにおける授業予定	プロジェクトを成功させるためにSNS、マーケティング、メディア戦略なトータルで具体的にに取り組む内容について説明する。			
第39回	授業を通じての到達目標	プロジェクトを具体的に企画・立案するための現地調査ができるようになる		スライド(投影)	プロジェクトの企画立案について必要な要素を整理しておく
	各コマにおける授業予定	課外授業:クラウドファンディングを実施しようと検討している方のところに訪問し、現場を見ながら具体的に企画・立案の内容について詰める。			
第40回	授業を通じての到達目標	プロジェクトを具体的に企画・立案するためのヒアリングができるようになる		スライド(投影)	プロジェクトの企画立案について必要な要素を整理し質問できるようにしておく
	各コマにおける授業予定	課外授業:クラウドファンディングを実施しようと検討している方のところに訪問し、ヒアリングをしながら具体的に企画・立案の内容について詰める。			
第41回	授業を通じての到達目標	具体的なプロジェクトが企画立案できるようになる		スライド(投影)	課外授業で調査した内容を整理しておく
	各コマにおける授業予定	課外授業で実際に得た情報を元に具体的にプロジェクトの企画・立案を行う。			
第42回	授業を通じての到達目標	具体的なプロジェクトがリターンが設計できるようになる		スライド(投影)	課外授業で調査した内容を整理しておく
	各コマにおける授業予定	課外授業で実際に得た情報を元に具体的にリターンを設計できるようになる。			
第43回	授業を通じての到達目標	具体的なプロジェクトページが制作できるようになる①		スライド(投影)	前回までに取り組んだ内容を落とし込むために整理しておく
	各コマにおける授業予定	前回までに整理した内容を元に具体的なプロジェクトページの制作を行う演習(文章・画像・動画)			
第44回	授業を通じての到達目標	具体的なプロジェクトページが制作できるようになる②		スライド(投影)	成功するために必要な要素を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	前回までに整理した内容を元に具体的なプロジェクトページの制作を行い、各自でレビューしあう			
第45回	授業を通じての到達目標	制作したプロジェクトページをレビューできるようになる①		スライド(投影)	成功するために必要な要素を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	課外授業で訪問したクラウドファンディング実施検討者に対してプロジェクトページをレビューし、内容をブラッシュアップする			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	クラウドファンディング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	302
担 当 教 員	岡村 和明	実務経験と その関連資 格				
《授業科目における学習内容》						
クラウドファンディングの歴史・現況について理解を深め、クラウドファンディングの各プロジェクトの事例研究を行い、成功事例・失敗事例・傾向と対策を学ぶ。プロジェクトの実施方法を経験を通じて学び、自力でプロジェクトを立案と実施をできるようになり、今後、自身の資金調達方法を獲得する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末にレポート提出 評価:70%。 出席評価20%。講義内課題提出状況などによる平常評価10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
なし						
《授業外における学習方法》						
講義中に提示される演習課題を次回講義までに仕上げることで理解を深める						
《履修に当たっての留意点》						
SNSやニュース、自分の興味のある領域でのクラウドファンディングプロジェクトについてアンテナを貼ると、より内容が理解できます。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 46 回	授業を 通じての 到達目標	制作したプロジェクトページをレビューできるようになる②		スライド(投影)	成功するために必要な 要素を振り返っておく	
	各コマに おける 授業予定	課外授業で訪問したクラウドファンディング実施検討者に対してプロジェクトページをレビューし、内容をブラッシュアップする				
第 47 回	授業を 通じての 到達目標	具体的なプロジェクトページが制作できるようになる③		スライド(投影)	前回までのレビュー内容を 整理しておく	
	各コマに おける 授業予定	前回までのフィードバックを元に具体的なプロジェクトページをブラッシュアップする演習(文章・画像・動画)				
第 48 回	授業を 通じての 到達目標	プラットフォーム担当者と意見交換ができる		スライド(投影)	プラットフォームで行うこ とを振り返っておく	
	各コマに おける 授業予定	具体的なプロジェクト開始に伴いプラットフォーム担当者と意見交換を行いながら、成功するための企画立案を行う				
第 49 回	授業を 通じての 到達目標	プロジェクトページの活動報告が投稿できるようになる		スライド(投影)	活動報告を事前にいく つか見ておく	
	各コマに おける 授業予定	具体的なプロジェクト開始に伴いプロジェクトページの活動報告を作成する。作成にあたる他のプロジェクトの事例を調査する				
第 50 回	授業を 通じての 到達目標	プロジェクトの進捗と状況を把握しプラットフォーム担当者と意見交換ができる①		スライド(投影)	具体的なプロジェクトの 状況を把握する	
	各コマに おける 授業予定	具体的なプロジェクトの実施状況を調査分析し、プラットフォーム担当者とレビューする				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	授業を通じての到達目標	海外のクラウドファンディングの状況について説明できる		スライド(投影)	海外の有名なクラウドファンディングプラットフォームを調査しておく
	各コマにおける授業予定	海外のクラウドファンディングの状況を説明。具体的なプラットフォームを調査しながら、各国の現況を説明・理解する。			
第52回	授業を通じての到達目標	プロジェクトの進捗と状況を把握しプラットフォーム担当者との意見交換ができる②		スライド(投影)	具体的なプロジェクトの状況を把握する
	各コマにおける授業予定	具体的なプロジェクトの実施状況を調査分析し、プラットフォーム担当者とのレビューする			
第53回	授業を通じての到達目標	3Dプリントでリターンのアイテムを制作できるようになる		スライド(投影)	3Dプリントで作成したいリターンのアイテムを考えておく
	各コマにおける授業予定	プロジェクトのリターンとして3Dプリントで作成するものをモデリングする演習			
第54回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングにおける法的・財務的なポイントについて説明できる		スライド(投影)	自分の興味のある分野に法規制がないか調査しておく
	各コマにおける授業予定	クラウドファンディング実施にあたり税金・会計の基本、知的財産権の扱い、許認可が必要なものなどについて説明する			
第55回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングのプロジェクトを立案できるようになる		スライド(投影)	プロジェクトを行うための具体的な案件を検討しておく
	各コマにおける授業予定	演習でプロジェクトページを作成するにあたり、プロジェクトの立案を事細かに行う演習			
第56回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングのプロジェクトページを作成できるようになる①		スライド(投影)	プロジェクトが成功するために必要なポイントを整理しておく
	各コマにおける授業予定	演習:具体的な事例をもとにプロジェクトページの作成を行う			
第57回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングのプロジェクトページを作成できるようになる②		スライド(投影)	プロジェクトが成功するために必要なポイントを整理しておく
	各コマにおける授業予定	演習:具体的な事例をもとにプロジェクトページの作成を行う			
第58回	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングのプロジェクトページを作成できるようになる③		スライド(投影)	プロジェクトが成功するために必要なポイントを整理しておく
	各コマにおける授業予定	演習:具体的な事例をもとにプロジェクトページの作成を行う			
第59回	授業を通じての到達目標	演習で作成したプロジェクトページの発表を通して評価ができるようになる		スライド(投影)	評価ポイントを整理しておく
	各コマにおける授業予定	前回までに作成してプロジェクトページの発表会を行い、良い点・改善点など評価しあう			
第60回	授業を通じての到達目標	本講義内容について、要点を理解した上で説明ができるようになる。		スライド(投影)	これまでの講義内容に関し、ノートやプリントを見直しておくこと。
	各コマにおける授業予定	総合演習を行ない、講義内容の理解度を測る。			